年頭のことば

秋田県議会
議　長

年頭にあたって、皆様に安心からお慶び申上げます。

昨年は私にとって、実にめまぐるしい日常でありました。

県及び市町村の首長並びに議会議員の選挙に引続き、参議院議員選挙等に馳回り、更に県議会議長に就任後は各種会合や打合せ等に出席するなど、心身共に落つく日がまれであったのですが、幸い健康にめぐまれていることと、先輩諸氏の御協力と御援助によりまして、あわただしい中にも事無くすごし、ここにすがすがしい新春を迎えることができましたことを心から感謝いたしております。

年明けになったからといっても別段事新しい問題が多くなるわけでなし、結局昨年よりの計画又は継続事業や、未処理の問題が残されており、これを如何にして、どういう方法、手段で今後解決し、推進し、県民福祉の向上のため努力するか、これらの問題を考えるとき、一そう職責の重大さが痛感されるのでありまして、正月とはいえ充分な休養は望み得ないと思っています。

それでは、どんな懸案事項があるか、またどういう事業が今年達成される予定であるか、その内容については今後の機会に説明することとし、ここではその名称と概要を申上げ、皆様の参考としたいと思うのであります。

まづ、昭和三十五年度の地方財政について、最も直接に関係の深いのは、国の予算に組まれている地方団体に対する財源付与の措置でありまして、この措置いかんによっては、住民の福祉向上に重大な影響をきたすことはいうまでもないのであります。従いまして地方財政の確立は地方団体の行財政の基本的問題として、全国議長会をはじめ知事、市町村会とが一致協力し国の予算措置に注目しているのであります。

殊に積雪寒冷地帯であり、未開発後進県としての本県においては、当然これが確保について県議会としても最善の努力を払っているのであります。この財源確保を先づ重点とし、史上空前の大被害をもたらした昨年の風水害、即ち伊勢湾台風に関連する災害復旧の対策、東北開発の促進、県外移出米助成立法の促進、地方公務員の給与改訂、公職選挙法の改正問題等、全国的また東北地帯共通の問題、或は米産県特有の諸問題があるのであります。

更に、県内の産業経済の発展を目途として計画され、昨年より県議会は勿論、学識専門家関係者間において十分検討審議中の県総合振興四カ年計画の実施は今後の産業振興に、県民所得の増高に大なる期待がかけられる問題であり、八郎潟干拓事業の既定計画実施の推進と、これが完成後の入植や農村建設計画の樹立、わが国最初の内地におけるビートの栽培、第二田沢開田計画等農業に関する諸問題や奥地資源開発の主要因となる生橋、鷹角の両鉄道線の早期完成八幡田操車場と秋田民衆駅の建設、秋田港の拡張及び秋田飛行場の建設等輸送網整備の問題、電力の増強確保のための火力発電所の建設、工場誘致等事業面において早期完成又は計画の実現と財源の確保に努力しなければならないのであり、また本年完成する産業会館に引続き、文化センターとして図書館を含む県民ホールを現在の記念館の位置に建設する計画も今年中に具体化する見透しがあるのであります。特に県民待望の第十六回国民体育大会の開催地として決定をみた本県は、明年の開催を控えて県民挙げて諸施設を整えると共に、他県からの来客に対する心の準備に努めなければならないと思うのであります。

数えあげると数々の懸案事業があるのでありますが、何れも直接、間接に県民の生活につながるものであることはいうまでもないのであります。議長就任来いまだ日も浅く、未経験な私として、今後皆様の積極的な御協力をお願い申上げ併せて皆様の御多幸をお祈りいたしまして新年のことばといたします。

上水道

貨車百三台分の配管

伸び悩む一般家庭への給水

昭和三十五年は、火災跡地の区画整理が完成し、これに伴って市の上水道の配管工事も完了する年であります。ここらで一つ市の上水道の規模についてみることにいたしましょう。

まづ本管の布設延長についてみますと口径四〇〇ミリから七五ミリまでの九種類で四万七千五百米（約十一里二十八丁）これは奥羽本線に例えて見ますと、上りでは大館駅から東能代駅まで、下りでは大鰐を経て石川駅に達する距離に相当します。

またこの鉄管の重さは千五百四十三トン（約四万一千百五十貫）となり十五トン積貨車で百三輌分に当り、貨物列車にするとその長さは約八百米に達する計算になります。

また、この管の接合のために使用される鉛は二十七トン（約七千三百貫）余りになっています。

これらを金額にしてみますと、ざっと一億二千七百万円という巨大な額に上っております。

次に長根山公園下の水源地から揚水した水が、どのように使用されているか、一日の消費量についてみますと次のようになっております。

▼家庭用＝一七九〇件、消費量五九〇トン（四五%）

▼営業用＝二五〇件、消費量三二九トン（二五%）

▼官公署＝九九件、消費量二一二トン（一六%）

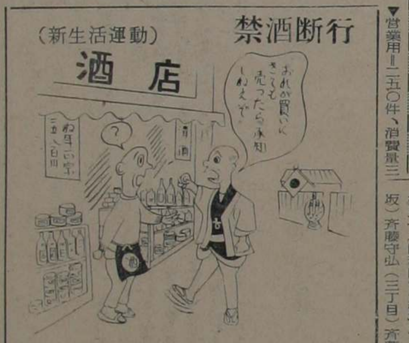
▼学校＝七件、消費量八一トン（六%）

▼風呂屋＝五件、消費量八七トン（七%）

▼その他（共用、臨時）＝二七件、消費量二三トン（一%）

▼合計＝二一七八件、消費量一三二三トン

さて施設は整ったものの、実際のところ一般家庭への給水は伸び悩み計画戸数の約五〇%に止どまっておりますので市水道課では上水道施設の観覧をお願いすると同時に、衛生的で近代生活に欠かすことのできない上水道を皆様の施設として活用されるようのぞんでいます。


禁酒断行
（新生活運動）
酒店
おれが買いにきても売ったら承知しねえぞ
?

新民生委員きまる

社会福祉の第一線で活躍する新しい民生委員百一名がきまり去る十二月一日付で厚生大臣からの委嘱状が交付されました。新民生委員の氏名次のとおり、かっこ内は住所。

◆大館地区

成田良助（四丁目）宮原真哉（一心院）月居八子（桂城）山内栄治（通町）竹村フキ（新町）荒谷武三郎（赤館）長谷川儀七郎（川原町）花岡嘉男（大町）木村欣一（一丁目）松原フミ（長倉町）小畑清治（弁天町）菅原マツ（大正町）外崎守（田代町）山田キサ（古川町）筒井宇助（金坂）加藤信三（末広町）高橋重太（南町）富樫正一（清水町）名村ミツ（二丁目）川連ミサ（中道）伊藤貞蔵（部垂町）桑名健道（桜町）高橋みね（谷地町）小笠原清三（新地）石井良一（昭和町）加賀マサ（御坂）斉藤守弘（三丁目）斉藤志津子（常盤木町）平泉良之助（馬喰町）田畑文治（栄町）佐々木久太郎（神明町）阿部祥一（東新）木村ヨシ（柄沢）小松茂太郎（南新明町）

◆釈迦内地区

布谷吉松（小釈迦内）菅原勇（板子石）加賀谷運次郎（日景町）猪又次郎（獅子ケ森）千葉二郎（中通）加藤エス（山神台）佐々木ミサオ（長面）上村セツ（長面袋）三浦正志（商人留）渡部ツルエ（松峯）佐藤運吉（松木）桜庭ヒサ（沼館）

◆十二所地区

畠山ウメ（大滝）小坂タメ（下町）石井トミ子（中町）吹谷ハル（上町）奈良禎篤（上新町）黒田三郎（別所）田村鉄之助（沢尻）木次谷市太郎（葛原）奈良テル（猿間）柴田政夫（軽井沢）佐々木義雄（曲田）奈良仁吉郎（道目木）

◆真中地区

石戸谷正直（赤石）虻川政吉（槇崎）佐藤助作（板沢）工藤長一郎（下川原）武田佐市（大披）佐藤清（出川）和田敬蔵（小袴）石戸谷クニ（高戸谷）

◆上川沿地区

笹谷三八郎（舟場）畠山豊治（萩の台）畠山喜蔵（池内）藤原末治（山館）田中清太郎（根下戸）飛森伊左エ門（餌釣）石垣勇蔵（中山）

◆長木地区

三浦トミ（上代野）石田チメ（下代野）田村吉彦（芦田子）近藤淑（養の神）山内三郎（大茂内）高橋鉄太郎（茂内）田中徳治（東二ツ屋）田畑助五郎（大明神）岩根重太郎（新沢）佐々木茂見（赤沢）安部福治（茂内屋敷）岩間継男（舘谷）畑田重蔵（石淵）

◆二井田地区

佐藤良英（川原）柳谷武（館）伊藤豊蔵（上高村）小畑千代三郎（四羽出）佐藤仁鳳（本宮）芳賀末治（前田）武田久五郎（大子内）一関トク（町）伊藤キヨノ（下高村）

◆下川沿地区

斉藤秋次郎（片山）村尾五六（餅田）長崎末治（立花）虻川慶一（川口下）工藤忠造（川口上）工藤久作（櫃岩）

水栓の凍結に注意

これからはうっかりして凍止栓の操作を忘れると水道を凍結させてしまいます。お寝み前には必ず凍止栓をしめましょう。

万一水栓を凍らした場合は、その箇所をお湯で除々に温めて下さい。この場合、熱湯を直接水栓にかけますと破裂させることがありますから除々に温めるようにし、これを二、三回繰返しても融けない時は、水道課又は水道工事店へ御連絡下さい。

凍結させてから日を置きますとますます凍りがひどくなり水栓を破裂させることがありますから御注意下さい。

水道課では十日曜日は勿論、正月の休日でも待期して故障時のサービスを行うことにしています。

ヤミ酒を追放しよう

自家用酒とて安くない

旧聞に属するが、昭和二十九年三月に宇都宮市でAというヤミ酒販売人が現行犯で捕った。彼の自供で埼玉県与野町のアルコールブローカーBが挙げられたが確証の得られたものだけでBはAのほかに東北では秋田、福島など四県の密造常習者一八名にドラム罐二十本分の工業用アルコールを売っていたことがわかった。これは勿論密造用に使用されたものである。

昨年においても東北各地で相当数の偽造清酒が発見されているが値段の安さにつられて飲んだとすればどんなことになるか想像するだけでも肌寒い思いがする。

濁酒についても非衛生的なことは同じ。仙台国税局が今まで取締りを行った結果をみると集団密造設備の多くは、発覚をおそれてほら穴、便所裏、ひどいのになると豚小屋の下にかくされてあったものもある。

自家製造は大丈夫という気休めもあろうが、取締当局の眼を盗み不潔な場所で原始的な方法で造られる酒が良いはずがない。ブーゼル油などの不純物が残って、永い間に身体を害するおそれがある。

おまけに、まかり間違えば懲役や罰金などのとり返しのつかないおきゅうをすえられるのである。

密造酒は安いといわれるが、試みに次のような計算をしてみよう。

最低百円で売られている濁酒一・八リットルのアルコール含有量は平均七度である。そうするとアルコール一度当り十四円二十銭ということになる。正規の二十度焼酎は二七五円であるから、この方は一度当り十三円七十五銭となりアルコール分だけでいえば正規のもの全部が高いというわけではない。

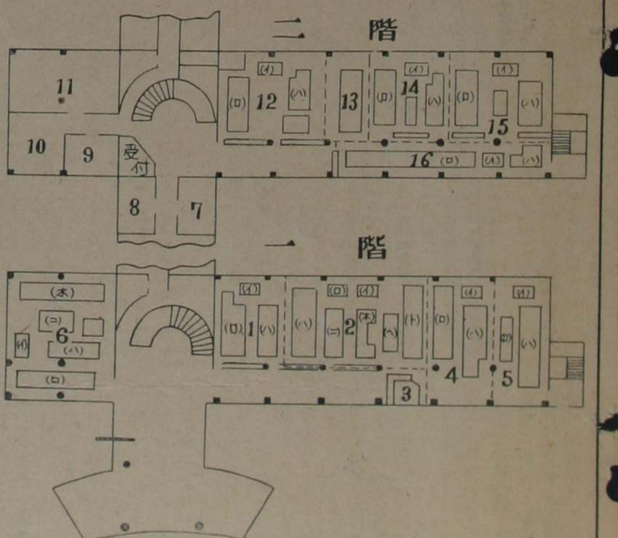
密造の罰としてこういうこともいい得る。密造の取締りに仙台国税局が費す経費は年間三千万円にのぼっている。また密造酒がのまれるため脱税される北東の酒税の推計額は四十二億七千万円という膨大な数字になる。合せて四十三億円が逆に、直接間接に一般納税者の負担になっているわけ。

皆みんなで密造酒を追放しよう。

主要食糧購入通帳の交付遅延のお知らせ

例年十二月一日をもって更新される「小売販売業者用」及び「消費世帯用」の主要食糧購入通帳は食糧庁の都合により更新は二月下旬の予定でありますから御了承下さい。

なお、この間の受配または異動には引続き現在の通帳を使用することになっています。



市役所配置図説明

①商工課…（イ）課長（ロ）戸籍係（ハ）商工係　②収入役室…（イ）収入役（ロ）室長（ハ）第一（市税）徴収係（ニ）同（ホ）会計係（ヘ）用度係（ト）第二（保険税）徴収係　③市金庫　④民生課…（イ）課長（ロ）保険係（ハ）厚生衛生係　⑤福祉事務所…（イ）所長（ロ）庶務係（ハ）援護係　⑥建設課…（イ）課長（ロ）土木係（ハ）失対係（ニ）監理係（ホ）都市計画係　⑦市長室　⑧収入役室会計係分室　⑨助役室　⑩建設課建築係　⑪教育委員会事務局　⑫総務課…（イ）課長（ロ）庶務係（ハ）統計調査係　⑬農業委員会　⑭農林課…（イ）課長（ロ）林務係（ハ）農務係　⑮管財課…（イ）課長（ロ）管財係（ハ）地籍係